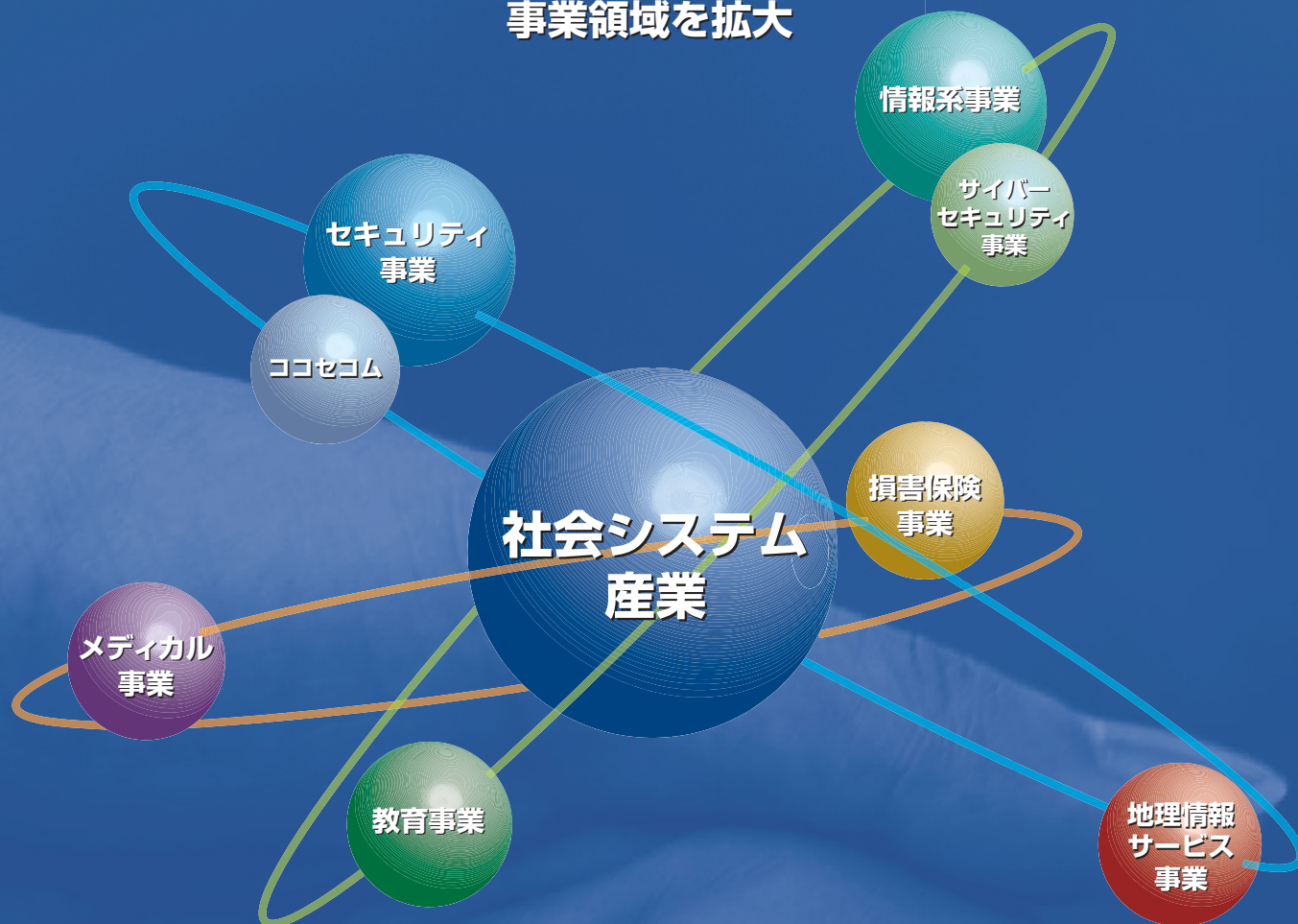


## 多様化する社会のニーズを先取りして 事業領域を拡大



セコムは「社会システム産業」の構築をめざして、さまざまな事業を行っています。それらの事業の中でコアになるのが、社会に「安全・安心」を提供するセキュリティ事業です。セコムはここ数年、セキュリティ事業の進化・発展拡大を図ってきました。

事業所向けのセキュリティでは、新システムの開発、システムの機能・質の向上に努めてきました。また、インターネットの急速な普及に伴って重要性を増しているサイバーセキュリティ分野に進出しました。

家庭向けでは「セコム・ホームセキュリティ」の浸透に努めると同時に、「安全・安心」に加え、より「快適」「便利」を重視したサービスの拡充をめざしています。また、これまでのお客様の建物内の財産を守る防犯・防災から家族の「健康・医療」へと「安全・安心」の対象領域を拡大するとともに、トータルな「安全・安心」を提供するために損害保険事業に進出しました。

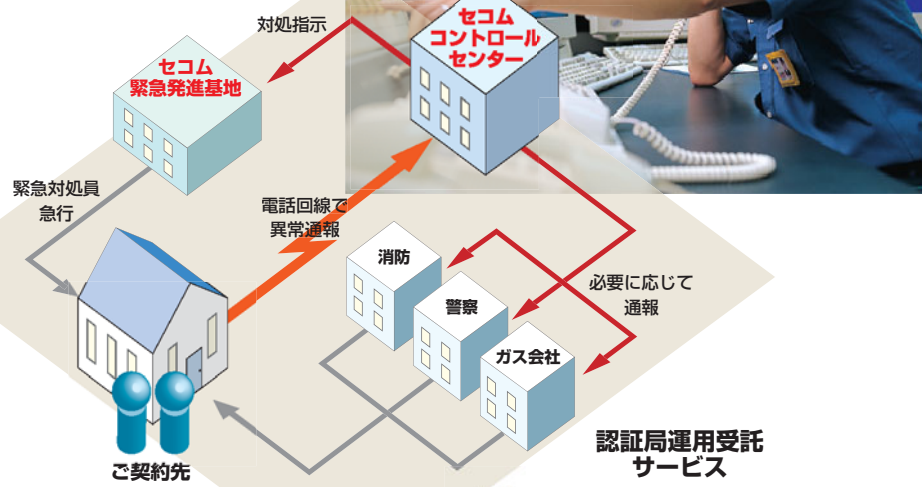
そして2001年4月、屋外を中心に移動する人や車の安全を守るという、これまでのセキュリティの概念を広げる全く新しいセキュリティサービス「ココセコム」をスタートさせました。

このように、国際化・情報化の進展で急速に変化する社会の中で、新たに発生し拡大しつつあるリスクを先取りして新しいセキュリティ分野、新しいセキュリティシステムの創出を図ってきました。

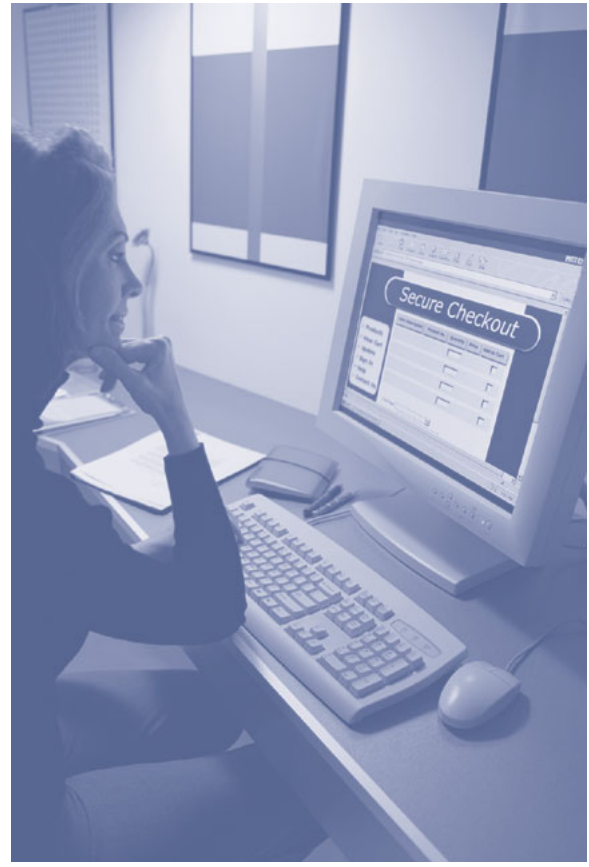
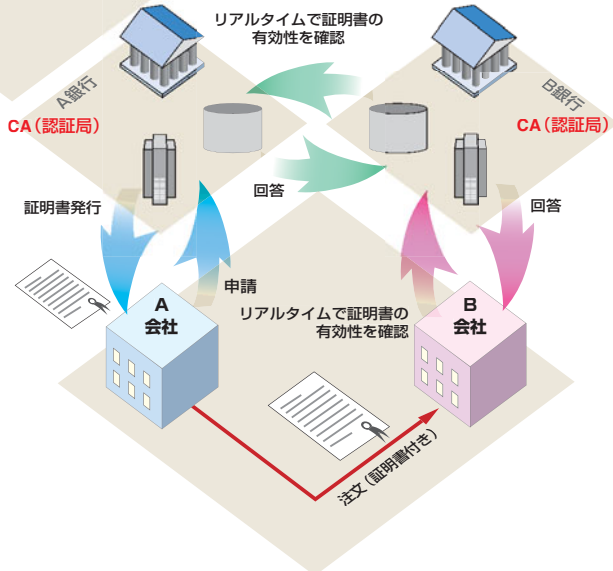
ここでは、そうした近年のセコムグループの取り組みをご紹介します。



### セントライズドシステム



### 認証局運用受託サービス



# SECOM's Social System Industry

## 先進の画像処理技術の採用で システムはより高性能・高精度化

社会に安全・安心を提供するセコムでは、計画的で悪質な犯罪に対して、最先端の画像センサーを利用したオンライン・セキュリティシステム「セコムAX」を1998年に開発・商品化しました。

このシステムの導入により、犯行発生と同時に室内の状況を画像として捉え、セコムの緊急対処員の出勤と警察への通報を迅速に行うことが可能になりました。その仕組みは、画像センサーで異常をキャッチすると、そのセンサーがとらえた画像が即座にセコムのコントロールセンターに送信されるというものです。侵入異常の場合は、異常発生時とその前後の静止画像が、非常通報の場合は、非常ボタンを押した際の画像、その前の静止画像に加え、現時点の画像を送信し続けます。受信した画像は、コントロールセンターの画像監視用モニターに表示され、管制員はこの画像をもとに適切に対応します。また管制員は、画像による室内の状況の確認、画像センサーに内蔵されたマイクによる異常音の確認、スピーカーによる違法侵入者への音声警告などを行うことも可能です。

続いて1999年には、コンビニエンスストアなどの深夜営業店舗での強盗事件を未然に防止するオンライン画像監視システム「セコムIX」を発売しました。これはCCTV（監視カメラ）システムと動画伝送技術を利用した、非常通報を主目的とするオンライン・セキュリティシステムで、次のような二つのサービスを提供しています。

「非常通報画像監視サービス」は、犯罪発生時や身の危険を感じたときに非常通報操作をするだけで、信号とともに画像と音声当社コントロールセンター内の画像センターに送信されるものです。また「画像監視要請サービス」は、ご契約先の現場スタッフが身の危険を感じたときに監視要請の操作をするだけで、画像センターによる遠隔監視を要請できます。画像センターでは、信号が入ると画像と音声で状況確認し、店内に設置したスピーカーでアナウンスし、状況に応じて緊急対処員への出勤指示、110番通報を行います。このほか、画像による巡回を画像センターから実施する「画像巡回サービス」なども提供しています。

このように、最先端の画像処理技術を組み込むことで

システムの高機能・高精度化を進めてきました。現在、この「セコムAX」「セコムIX」の普及を図ることで、ますます凶悪化する犯罪の防止に取り組んでいます。

## 現実社会の安全に加え、 目に見えないネットワーク上の安全も守る

現在、企業間ネットワークばかりでなく、家庭へのネットワーク化が進み、電子商取引、電子申請などを日常的に利用するサイバー社会が、急速に形成されつつあります。これらのネットワーク基盤が安全に活用されるには、インターネット上のセキュリティ対策である「サイバーセキュリティ」が不可欠です。なぜなら、サイバーセキュリティは、インターネット世界のさまざまな脅威に対し、セキュリティポリシーの策定、PKI（公開鍵暗号基盤）の構築と電子認証、アクセスコントロール、ウイルス対策、不正侵入対策等の実施によって、個人ユーザー、企業、組織の円滑な利用を促すための重要な基盤、つまりITインフラをさらに強固に支える基盤となるからです。

日本におけるセキュリティの先駆者であるセコムグループは、そうしたサイバー社会の進展に不可欠な新しい社会基盤づくりとして、現実社会のフィジカルセキュリティのサービス展開に合わせて、サイバーセキュリティサービスを社会システムのひとつとして創出していくことをめざしています。

すでに、グループ企業のセコムトラストネット（株）を通じて、ウイルス対策のプロフェッショナルが24時間監視体制で企業・組織の情報通信ネットワークをウイルス感染から防護する「セコムウイルス監視サービス」、企業・組織の情報通信ネットワークへの不正アクセスをリアルタイムで休みなく遠隔監視する「セコム不正侵入検知サービス」の監視サービスを行っています。このほか、ホームページとお客様間の暗号化通信とサーバー運営者を証明するサーバー証明書「セコムパスポート for Web」、企業・団体の組織内で使用する電子証明書「セコムパスポート for member」、さらには認証局の構築や運営を行う「認証局運用受託サービス」をはじめとする電子認証サービスなどを提供しています。



### セコムコントロールセンター

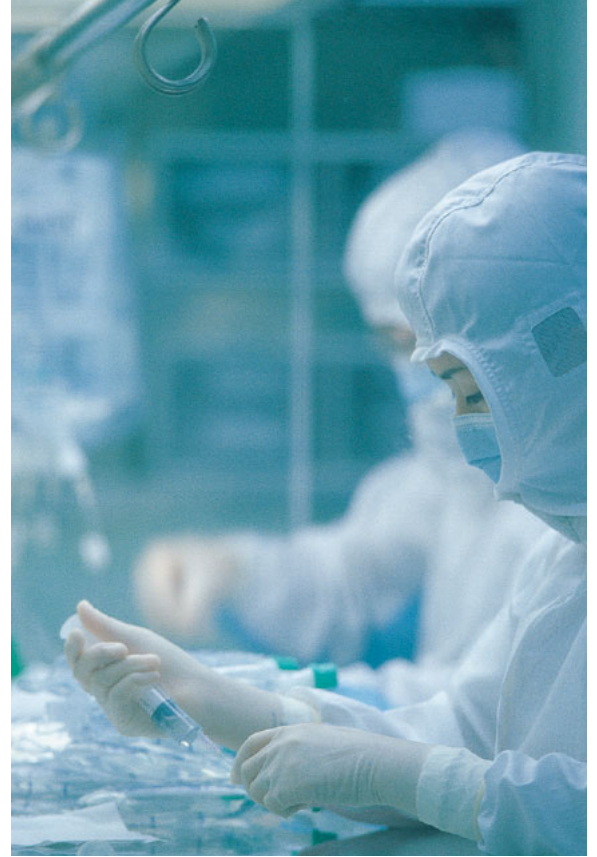
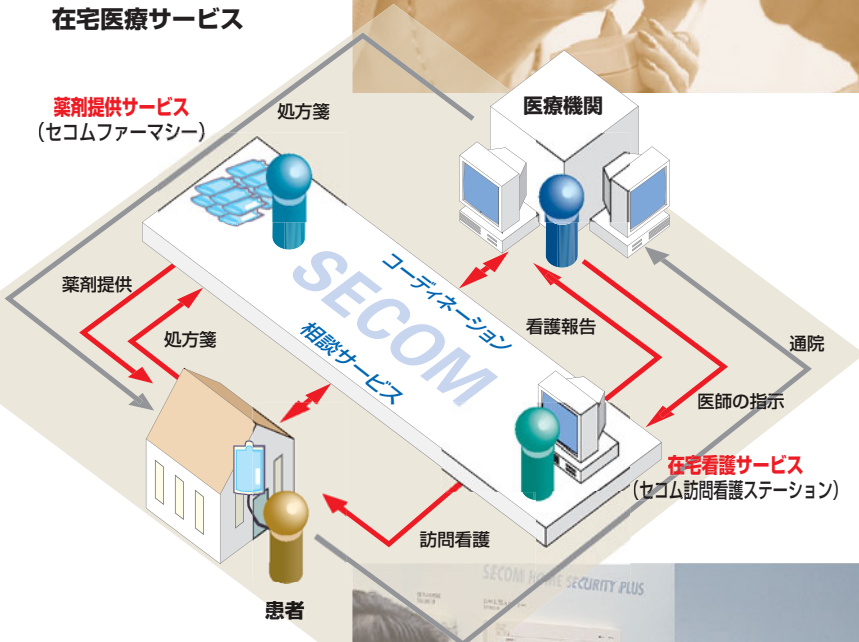
全国47カ所に設置されているセコムコントロールセンターでは、24時間、オンラインで結ばれているご契約先の異常信号を監視しています。

**vision** is expanding the scope of its security services



在宅医療サービス

薬剤提供サービス  
(セコムファーマシー)



# SECOM's Social System Industry

また、1998年12月に、セコムを筆頭に17社で設立したエントラストジャパン(株)は、世界的に評価の高い米国エントラスト社の電子認証システムを販売しています。

2000年12月に立ち上げた「セコム・セキュアデータセンター」では、厳格な入退出管理はもちろん、ネットワーク上での不正アクセスやウイルス感染に対する監視など、厳重な運用管理体制を敷き、フィジカルとサイバー両面で最高レベルの環境を整え、セコムのサイバーセキュリティの信頼向上に寄与しています。

セコムは進展するインターネット社会に不可欠なサイバーセキュリティの分野でもリーディングカンパニーをめざしています。

## 家庭における不安に的確に対応し、 ホームセキュリティでの信頼を獲得

セコムが1981年にホームセキュリティシステムを開発して以来、都市化、国際化、高齢化の進展に伴い家庭を取り巻く環境も多様性を見せており、家庭内での安全・安心に対する意識や関心はますます高まっています。

「セコム・ホームセキュリティ」は、外出時のセキュリティ対策としてだけでなく、24時間、家庭に安全・安心を提供するため、各種センサーで泥棒、火災、ガス漏れをキャッチし、また無線方式の携帯型押ボタンで押売や強盗時の非常信号や急病時の救急信号を捉え、オンラインでセコムのコントロールセンターへ異常信号を送信してきます。さらに、異常時には緊急対応員が急行し、適切な処置を施します。このように、セコムは「いざというときに、セコムが来てくれる」という安心感を提供することによって、お客様との信頼関係を築いてきました。

家庭の安全は社会生活の基盤であり、ホームセキュリティシステムは社会システム産業の基盤となることから、現在、ホームマーケット開拓を進めています。全国各地にホームセキュリティショップを設置し、「セコム・ホームセキュリティ」に代表される家庭での安全・安心に伝えるサービス・商品の普及に力を注いでいます。

さらに、セコム損害保険(株)が販売している家庭総合保険との融合や、自宅に居ながら電話で健康相談ができる「ほっと健康ライン」サービスのよう、他の事業のサー

ビスとの複合・融合化をめざし、ホームセキュリティの分野で最先端の技術と高品質のサービスをもってトップブランドとしての信頼に添えていきたいと考えています。

## 家庭の安全として家族の健康・医療まで

セコムの医療事業は、「セコム・ホームセキュリティ」のサービスのひとつとして、救急通報システム「マイドクター」を提供したことが契機となりました。つまり、家庭の安全・安心を突き詰めていくと、家族の健康や命を守ることに行き着くことから、健康・医療分野のサービスを手がけることにしたのです。

こうして、1991年からは、日本初の本格的な在宅医療サービスをお届けしています。それまでは病院に入院し続けなければ治療が受けられませんでした。が、「豊かな社会は選択肢の多い社会である。医療においても今までにない選択肢を提供したい」とセコムは考え始めました。

主な提供サービスは、主治医の処方箋に基づきセコムファーマシーのクリーンルーム(無菌調剤室)で薬剤師が点滴用薬剤を調剤してお届けする薬剤提供サービスと、主治医の指示に基づき高いスキルと豊富な経験を持つ看護婦(士)が定期的に患者さんのお宅を訪問し、状態観察や床ずれなどに対する処置、カテーテルの管理、リハビリ指導などの医療的処理を行う訪問看護サービスです。なお、1999年から民間企業の訪問看護ステーションにも、医療保険が適用されるようになったことから、現在、東京・新宿ほか全国主要都市25カ所に訪問看護ステーションを開設してサービスを提供しています。

このほか、在宅医療サービスを補完する在宅介護サービスの提供、医療機関向けサービスとして専門医による迅速な遠隔画像診断を支援するサービス「ホスピネット」の展開、日本でトップクラスの終身利用型高齢者向け施設「サクラビア成城」「ロイヤルライフ多摩」の運営、医療機器・器材、消耗品を販売する医療機器専門商社の(株)マックの買収など、メディカルサービス事業の拡大を図っています。メディカルサービス事業を「安全・安心を提供するサービス業」と位置づけ、サービスのシステム化、社会基盤化をめざしています。



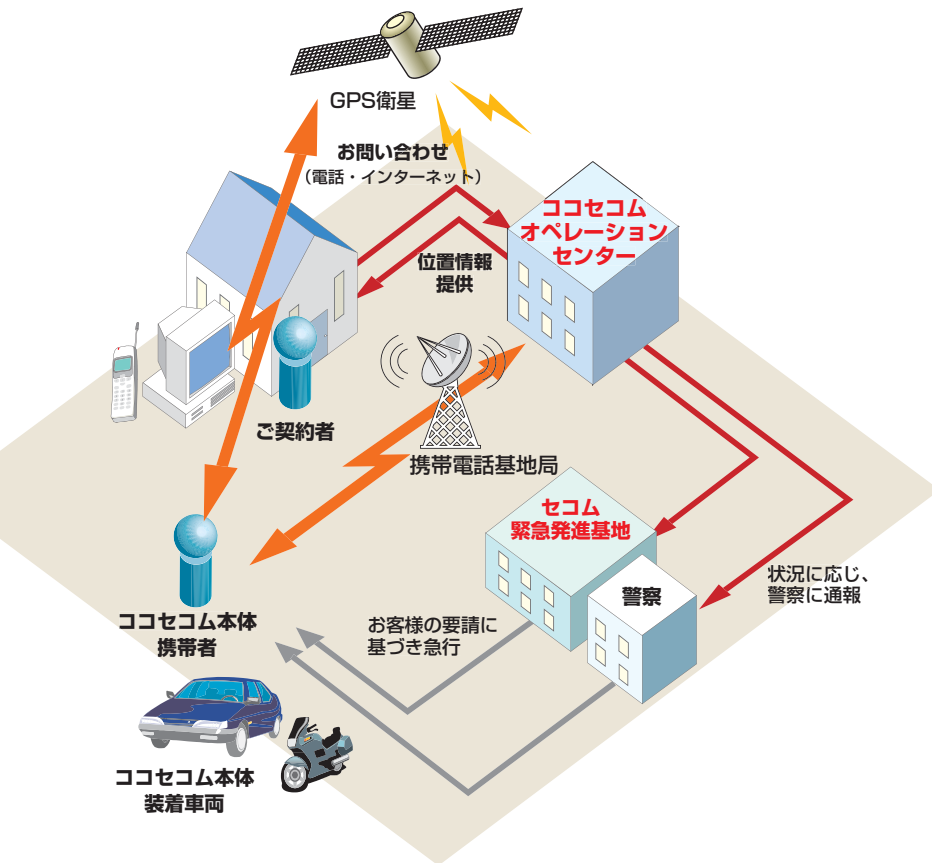
## セコムファーマシー

保険調剤薬局セコムファーマシーでは病院発行の院外処方箋に基づき保険調剤を行っています。

**vision** is expanding the scope of its security services



ココセコム  
(位置情報提供+現場急行)



# SECOM's Social System Industry

## 損害保険で万一の際の補償を行うことにより 安心感を高める

セコムは以前から「安全・安心はオンライン・セキュリティシステムと損害保険が一体となっていることがベスト」と考えてきました。なぜなら、当社は盗難、火災といった災害を未然に防止するため、オンライン・セキュリティシステムの提供を続けており、これに万一、被害が発生した後に補償をする損害保険事業を組み合わせれば、顧客の安心感は一段と高まると考えたからです。さらに、1996年の規制緩和など保険業界を取り巻く環境変化とも相まって、1998年には損害保険会社に資本参加し、損害保険事業に参入しました。

現在、セコム損害保険(株)がその役割を担い、当グループならではのユニークな商品開発を続けています。

第一は、交通事故が起きた際に、セコムの緊急対応員が現場に駆けつけ、適切なサポートサービスをする「セコム安心マイカー保険」。

第二は企業向け商品で、オンライン・セキュリティシステムのご契約先に対して低いリスクに対応し低価格な保険料に設定した「火災保険セキュリティ割引」。

第三は、セコム・ホームセキュリティのご契約先を対象とした、住まいと家財の家庭総合保険「セコム安心マイホーム保険」。この保険の特徴は、保険料が大幅に安くなることです。ホームセキュリティのお客様の住宅は、盗難や火災のリスクが低いことに加え、盗難補償の一部をホームセキュリティについている盗難保険でカバーしているので、保険料が安く抑えられます。また、お客様の住居の立地条件によっては、水害の危険がない方に対して、この部分の補償を除くことも選択可能です。もうひとつの特徴は、セキュリティグレードアップ費用で、火災や盗難の損害を被った際に、お客様側で危険軽減目的として負担された費用を、ケースによって一部分補償するものです。

これらの保険商品の登場で、セコムは事前の備えから事後の補償まで、一貫した安心のサービスをお届けできるようになりました。

## 建物内の安全から 屋外を移動する人・車の安全も守る

2001年4月からサービスを開始した「ココセコム」は、当社がこれまで企業や家庭向けのセキュリティシステムで培ったノウハウやネットワーク、最新の位置検索技術を活用して、移動する人物、自動車、二輪車に対してセキュリティサービスを提供するもので、三つのサービスがあります。第一は小型携帯端末を所持した人物の行方がわからないとき、第二は携帯端末を装着した自動車・二輪車が盗難にあったとき、セコムのオペレーションセンターで位置を検索し、お客様にお知らせするサービスです。なお、お客様から要請があれば、セコムの最寄りのデポから緊急対応員を現場に急行させて対応します。第三は駐車中の自動車移動させられたとき異常信号を発信し、オペレーションセンターからお客様に異常情報をお知らせする「自動車異常監視サービス」です。

「ココセコム」の位置検索は、GPS(全地球測位システム)衛星と携帯電話基地局情報の両方の技術を融合したもので、現時点では最高水準の精度を誇っています。また、「ココセコム」の携帯端末は携帯電話機並みの小型・軽量化を実現しています。さらに、月額基本料金は、人物の場合で500円、自動車・二輪車の場合で900円、自動車異常監視サービスつきの場合で2,400円と、従来の位置検索サービスに比べ格段に低価格を実現しています。

具体的な利用方法としては、まず小型の携帯端末を人や車に装着します。そして、家族の行方が分からなくなったり、車の盗難を発見したときに、ご契約先から位置検索の依頼が入れば、「ココセコムオペレーションセンター」ではGPS(全地球測位システム)衛星と携帯電話基地局を使って検索を行い、お客様に電話またはインターネットで、位置(地図または住所)を連絡します。さらに、お客様からの要請があれば、セコムの最寄りのデポから緊急対応員を現地に急行させて人や車の安全確認を行い、必要に応じて警察に通報します。

近年、子供の誘拐事件や老人の徘徊など家族の行方不明に対する不安感が増大しています。また、自動車や二輪車の盗難が急増し、大きな社会問題になっています。「ココセコム」は、こうした不安や問題を解消する有効なシステムとして、セキュリティのサービス範囲を屋外へと拡大したものです。新たに発生してきた社会問題を解決する画期的な選択肢として注目されています。



### ココセコム オペレーションセンター

ココセコムオペレーションセンターでは、お客様からのお問い合わせにより位置検索を行います。現場急行の要請があった場合には、コントロールセンターを通して全国に配置されている緊急対応員に現場急行の指示を行い、状況に応じて警察へも通報します。

**vision** is expanding the scope of its security services